

日本社会科教育学会ダイバーシティ推進宣言

本学会は、大学および幼稚園・小学校・中学校・高等学校等における社会科教育に関する研究をなし、あわせて会員相互の連絡をはかることを目的としています。

近年、ダイバーシティに配慮することが社会で求められるようになりました。本学会は、それに呼応すべく若手や女性、外国出身の研究者・実践者を学会のシンポジストや課題研究、各研究会の発表者に登用することを推進してきました。

しかしながら、本学会において、ダイバーシティの推進や実現という面からは、なお多くの課題があります。たとえば、男女共同参画の趣旨に基づいた役員構成のあり方、女性会員の比率の向上、若手会員への支援などです。

こうした本学会の状況を受け、2017年にダイバーシティ委員会を設けました。そこでは学会組織の構成員の偏りについて議論し、ダイバーシティと社会科教育に関する会員の意識や教員養成についてアンケート調査を実施し、社会科におけるダイバーシティの視点からの課題を示し、多様な人々との対話の機会を設けてきました。

この成果を更に発展させるべく、本学会では、国籍、エスニシティ、信条、年齢、性別、障がい、性的指向・性自認などに関わらず、本学会の構成員の誰もが、尊厳と多様な生き方や価値観を尊重され、各自の個性・能力・リーダーシップを発揮できるように努め、多様な英知を結集して、創造的な研究学術活動を展開し、ダイバーシティの尊重・推進に努めることを宣言します。

人々が対等に関わり社会貢献を目指すことは、日本社会科教育学会の未来に向けた使命です。日本社会科教育学会は、国籍、エスニシティ、信条、年齢、性別、障がい、性的指向・性自認などの差異を超えて会員全員がその能力を存分に発揮でき、互いの尊厳を守り価値観が尊重される社会科教育研究者の組織の構築を目指します。また、社会科教育の実践・研究の発展は、日本社会科教育学会が果たすべき真の社会貢献です。

日本社会科教育学会は、第73回大会総会において「日本社会科教育学会ダイバーシティ推進宣言」を発表し、以下の5つの項目の実現を誓います。

日本社会科教育学会は、

1. すべての会員の差異を認め、ダイバーシティを尊重する精神を啓発・推進します。
2. すべての会員が多彩な個性と能力を活かしてライフワークバランスを実現できる、さまざまな社会科教育の研究活動・研究環境を支援・推進します。
3. 合理的配慮を必要とする会員の支援体制を整備します。
4. ダイバーシティの視点に立った社会科教育研究者・実践者の育成を推進します。
5. 大会シンポジウム他、積極的に性別、世代、地域などに配慮した多様な人々を登用します。